

さがみはら森林ビジョン実施計画評価結果一覧表（令和2年度実施事業）

【重点事項その1】7事業

評価年度: 令和3年度

シートNo. 事業コード	事業名	事業所管課による評価		審議会からの評価及び意見		審議会からの意見に対する事業所管課の対応	
		主な取組・実績	評価	事務事業に対する意見	評価		
1	1-2-1	さがみはら森林ビジョン普及・啓発事業	令和元年度にて協働事業が終了したため、森林体験教室等、今後のソフト面の内容の検討を行った。また、各種イベントへ参加を予定していたが、新型コロナウイルス感染症により、参加予定のイベントがいずれも中止となり、参加できない状況となった。 5月の広報さがみはら森林特集として、本市の森林の状況や補助金制度、関係者へのインタビュー等の記事を掲載し、普及・啓発を行った。	D	動画配信やオンラインイベントの開催等、コロナ禍に対応した取り組みを推進していただきたい。また、オンラインイベント等の反響を見て、次に繋げられるような双方向性のある仕組みづくりにも努めていただきたい。 市民に対するイベントのみの普及啓発だけでなく、児童・生徒に対する環境教育も併せて推進していただきたい。	C	新型コロナウイルスの影響で、人の集まるイベントの開催が難しい状況ですが、市広報紙への森林特集掲載等、できることから取り組んでまいります。 併せて、オンラインイベントの開催や動画配信等の新しい形での情報発信の方法についても検討を行ってまいります。また、児童・生徒に対する環境教育についても、林業事業者等との連携により、実施できるよう検討してまいります。
2	3-1-1	「(仮称)相模原市市民の森」整備事業	令和元年度東日本台風により、「(仮称)相模原市市民の森」予定地である、石老山の東海自然歩道が崩落し、登山ができない状況となる。登山道の復旧には時間がかかることが想定されるため、相模湖地区まちづくり協議会と連携し、新登山道の調査、森林所有者への説明及び承諾を取り付け、新登山道の整備を実施した。整備時に発生した木を活用し、ベンチを作製、設置した。また、道標及び配布用チラシについても作製し、3月末に完成した。 4月に記者発表、また相模湖観光協会HPに記事を掲載し、周知を図った。	D	新登山道の整備は良い取り組みである。イベントについては、オンライン開催を検討していただきたい。観光資源の掘り起こしとして、QRコードを活用し、自然の猛威等を紹介することもできる。 また、ハード面の整備については、クラウドファンディングや民間企業の手を借りて行うことも検討していただきたい。	B	令和元年度東日本台風の影響で市民の森予定地が使えなくなってしまう状況であるため、オンラインでのイベント開催等を検討してまいります。 また、整備した新登山道について、市民への周知を図り、より多くの方に利用していただけるよう努めてまいります。
3	3-3-1	企業の森の整備	森林資源を活用し、収入を得て森林整備費等に充てる制度(カーボンクレジット、森林再生パートナー制度等)について、他市町村の取り組み状況等、情報収集を行った。	D	石老山の被害状況によっては、代替地の選定も検討していただきたい。石老山は企業の福利厚生場として利用してもらい、CSR(企業の社会に貢献する責任)活動には、他の未整備森林を充てるということも検討していただきたい。 また、対象企業を絞ったり、ワーケーションと組み合わせる等して、効果的な働きかけを行っていただきたい。	D	石老山の代替地として利用可能な市有林について、調査を行ってまいります。 企業への働きかけについては、対象の抽出やメニューの充実等、事業を効果的に進めるための取り組みを検討してまいります。
4	4-1-1	さがみはら津久井産材産材生産量の拡大	令和2年度の素材生産量は、3,949m ³ と目標値を上回ることができた。「さがみはら津久井産材利用拡大協議会」では、津久井産材の利用拡大に向けた協議や産地証明制度の運用、また津久井産材の啓発パンフレットの作成及び商品カタログの更新を行い、知名度向上と利用拡大に向けての取組を実施した。	A	引き続き素材生産量の拡大に向けて取り組んでいただきたい。	A	来年度以降も数値目標を上回ることできるよう、さがみはら津久井産材の利用拡大に向け、関係事業者と連携し、普及・啓発に取り組んでまいります。
5	4-1-3	地産地消の促進	●「さがみはら津久井産材利用拡大協議会」による産地証明制度 ・流通確認書発行件数…3件 ・販売、取扱量…205m ³ ●さがみはら津久井産材利用促進事業として、公共的建築物や住宅へ津久井産材を利用する場合に、経費の一部を補助する要綱を施行した。 ○公共的施設等促進事業 ・件数…1件(500万円) ・場所…さがみ湖プレジャーフォレスト ワイルドクッキングガーデン 受付棟及びウッドデッキ ○さがみはら津久井産材の家づくり事業 ・件数…0件 ※令和3年度補助金対象者等要綱改正 ●農林中央金庫より津久井産材で作製したベンチ12基を市へ寄贈いただいた。	D	さがみはら津久井産材の家づくり事業については、ほかの自治体と比べ、補助額が高水準である。積極的にアピールしていただきたい。	D	市が行う補助制度について、さらなる制度の充実と周知を図り、さがみはら津久井産材をより多くの方に使用していただけるよう取り組んでまいります。
6	5-1-1	市有林整備事業	森林整備(間伐・枝打ち)を7.55ha(累計158.25ha)及び作業路の整備ほか、次年度整備実施予定地の測量を実施した。	B	引き続き市有林整備に取り組んでいただきたい。	B	水源環境の保全のため、適切な森林整備のさらなる推進に取り組んでまいります。
7	5-1-1	私有林整備事業	協力協約により、間伐・枝打ちについて28.03ha、路網整備について2,348mの整備を実施した。また、新規に3.52haの協力協約を締結した。(森林政策課) 第3期市町村5か年計画に基づき、緑区大島地区の相模川沿岸の斜面緑地が持つ水源涵養機能の改善及び増進を図るため、4年目となる令和2年度は0.86haを対象に森林整備を行った。転倒崩壊防止のため傾斜木の伐採や枯損木の処理を行うとともに、林内が暗く、下層植生の乏しい個所での間伐、及び侵入竹の伐採を実施。また、森林整備のために必要な径路、土壌流出を防止するための現採丸太筋工を施行した(水みどり環境課)	A	計画通り進められており、引き続き水源環境の保全・再生に向けた着実な取り組みを期待する。	A	令和3年度は、第3期市町村5か年計画の最終年度であり、計画の遂行に向けて、引き続き、水源環境の保全・再生を図るための適切な森林整備の実施に努めてまいります。

評価区分 S:【事業完了】最終目標を達成済み A:【予定どおり】年度別目標を達成 B:【やや遅れ】年度別目標の80%以上達成 C:【遅れ】年度別目標の50%以上80%未満達成 D:【大幅遅れ】年度別目標の50%未満達成 E:【未着手】事業を実施していない

【重点事項その2】6事業

シートNo. 事業コード	事業名	事業所管課による評価		審議会からの評価及び意見	
		主な取組・実績	評価	事務事業に対する意見	評価
8	2-3-1	津久井産材天板交換等事業	児童机天板の作成及び交換(対象校8校、1,017枚) ※例年行っている「森林インストラクターによる講話」は新型コロナウイルスの影響により中止。		ナラ枯れ対策と連携し、被害木を天板交換事業で活用するなど、検討していただきたい。
9	4-1-1	さがみはら津久井産材利用拡大協議会の運営支援	「さがみはら津久井産材利用拡大協議会」と、さがみはら津久井産材等普及啓発事務委託を締結し、協議会事業計画のとおり、普及啓発パンフレット、商品カタログ及びロゴを作成した。 また、市HPの「森林情報館」への掲載や報道提供を行い、市民へ周知を図った。(公民館等への配布も実施) 会議は、総会及びパンフレット等作成時の意見交換会を開催し、支援を行った。		さがみはら津久井産材利用拡大協議会の円滑な運営に向け、引き続き支援に取り組んでいただきたい。
10	4-1-1	公共建築物等への利用促進	清新小学校、旭中学校及び消防詰所車庫建設工事に、さがみはら津久井産材を使用した。(室名札、腰壁、棚、ヘルメット掛等) さがみはら津久井産材を利用したアクリルパーテーションや鉛筆等を事業主管課で購入した。 「さがみはら津久井産材利用拡大協議会」で新たに作成をした商品カタログを、市HPの森林情報館へ掲載し、周知を図った。		引き続き、さがみはら津久井産材のさらなる利用促進に努めていただきたい。
11	4-1-4	木材の多様な利用のための技術・商品開発の促進	「今後、どのように森林資源を活用する管理をしていくのか」といった、取組方針について検討するにあたり、業者委託し、森林資源や林業の現状、また施業履歴をGIS上に「見える化」し、課題の抽出を行った。		木質バイオマスを活用した取り組みについては、経済的利益だけでなく、SDGsの観点からも検討していただきたい。 また、バイオマス以外にも、製材の過程で発生した端材をトイレの壁に活用するなど、資源の有効利用に向けて事業を進めていただきたい。
12	4-2-3	施業集約化支援事業	小規模・分散している森林を集約し、一体的(森林経営計画)に施業を行い、効率的な林業生産活動に繋げていくことを目的に、「森林整備地域活動支援交付金交付要綱」を施行した。森林経営計画の作成にあたり必要となる、森林所有者の同意取り付けや各種調査などに対し、交付金を交付した。		集約化を進める林業事業者に対する、森林所有者等の情報提供の支援について、検討していただきたい。 また、地主への交渉の際に、市の施策や計画に基づいた資料があると集約化が円滑に進むため、資料の作成を検討していただきたい。
13	5-1-1	里地山等の整備事業	●危険木の取扱いについて、調査検討を行う。(森林政策課) ●ナラ枯れ被害対策【10,000千円】(水みどり環境課) ・被害拡大防止対策として、ナラ枯れ被害木38本に粘着シート被覆を実施。 ・倒木等による人的・物的被害の防止等のため、ナラ枯れ被害木33本に伐倒くん蒸を実施。 ●松くい虫被害対策【870千円】(水みどり環境課) ・被害予防対策として、松32本に薬剤の樹幹注入を実施。		ナラ枯れ被害防止対策として、まだナラ枯れ被害の無い木を伐採し、他事業の資源として木材活用する等の取り組みについて検討していただきたい。

【重点事項以外】の27事業については、審議会から意見が出なかったため、記載はありません。

<参考>重点事項以外の38事業の名称一覧

シートNo・事業コード 事業名

14・1-1-1 森林情報サイトの運営	23・3-1-2 森づくりパートナーシップ推進事業等	32・4-2-4 人材育成・担い手の確保事業
15・2-1-1 林業団体助成事業(林業振興補助金)	24・3-2-1 里地里山保全等促進事業	33・4-2-4 森づくりの推進及び保全事業(再掲)
16・2-1-1 体験学習推進事業	25・3-2-2 自然等の地域資源を生かした各種ツーリズムの推進	34・4-2-5 施業集約化支援事業(再掲)
17・2-1-1 体験学習推進事業(ふるさと自然体験教室)	26・3-2-2 地域と人をつなぐルートづくり	35・5-1-2 森林所有者への意識啓発事業
18・2-1-2 体験学習推進事業	27・3-2-2 市民との連携による交流プログラムづくり	36・5-1-3 森林現況把握等推進事業
19・2-2-1 森林を活用した体験学習の推進	28・3-3-2 森づくりの推進及び保全事業	37・5-2-1 有害鳥獣駆除等対策事業
20・2-3-1 体験学習推進事業(相模川自然の村野外体験教室)(再掲)	29・4-1-4 再生可能エネルギーの利用促進	38・5-2-2 九都県市花粉発生源対策10ヵ年計画
21・2-3-1 体験学習推進事業(ふるさと自然体験教室)(再掲)	30・4-2-1 さがみはら津久井産材利用拡大協議会の運営支援(再掲)	39・5-2-3 不法投棄対策事業
22・3-1-2 緑地保全用地の購入事業	31・4-2-2 林道等路網整備推進事業	40・5-2-4 私有林整備事業等(再掲)